

第1回校名部会 議事概要（平成28年3月8日）

【部会長・副部会長の選任】

部会長：松原竹夫 委員（統合準備委員会会長 徹明自治会連合会長）

副部会長：古澤豊吉 委員（統合準備委員会副会長 木之本自治会連合会長）

【徹明自治会とPTAの意見】

○「徹明」という名前を残して欲しい。

（主な理由）

- ・「徹明」の意味は「明に徹する。つまり、明るい子。やりぬく子」
⇒子どもたちへの願いを込めた名前であり、その思いを理解して欲しい
⇒地名を校名にしていない。逆に校名を由来にして「徹明通り」と名付けられた。
- ・統合校は木之本小学校の校舎を使い、学校施設は残る。
⇒徹明地域の学校がなくなる喪失感は強く、徹明という名前だけでも残して欲しい
- ・明治6年に岐阜市の学校の歴史は始まったが、校名が変わっていないのは徹明、網代、且格のみである。
⇒岐阜市の歴史ある校名を残したい。

【木之本自治会の意見】

○徹明の思いは理解できる。「徹明小」では疑問に思うが、「徹明」を残すことは、やぶさかではない。

○両校廃校し、新設校とつくるという前提では、「徹明小」は違和感があるが、「徹明」を残すことに違和感はない。

【木之本PTAの意見】

○OPTAとしては突然の話なので、持ち帰り、役員と相談したい。

○校名を考えるのを楽しみにしている子どもや保護者も多い。

【協議】

○自治会とPTAで、徹明地域の総意は校名に「徹明」を残そうということで協議した。（徹明自治会・PTA）

⇒徹明小学校校長から私案を提案（「〇〇徹明小学校」、「徹明〇〇小学校」）



○具体的な校名検討をはじめる前に、校名の決定方法を決めてほしい。（木之本PTA）



○徹明の校名に対する思いを踏まえ、校名に「徹明」を残すという方針について検討してもらおうということだと思う。（事務局）



○徹明の考えは理解したが、持ち帰って協議をしたい（木之本PTA）

⇒本日、意思統一まではできない。

【まとめ】

○子供たちにとって早く統合されることが一番大事である。H29年には必ず統合するのだという気持ちで進めたい。